

2026 年 10 月 28 日

リコー、KDDI の大阪堺データセンターにおける AI 推論環境の検証を開始 ～国内データセンター上での生成 AI・AI エージェント活用に向け、有効性を検証～

株式会社リコー（社長執行役員：大山 晃、以下 リコー）は、KDDI 株式会社（以下 KDDI）が大阪堺データセンターで提供する AI 推論環境の活用において、先行パートナーとして参画し国内データセンター上での生成 AI 活用に関する検証を開始します。

本検証では、リコーが開発・提供するリーズニングモデルを含む LLM や AI エージェントの構築・運用等の生成 AI 関連技術と、KDDI の AI 推論基盤を組み合わせ、機微情報を取り扱う企業においても活用しやすいソブリン AI 基盤の実現可能性を検証します。これにより、企業の AI 活用の高度化と社会実装の加速を目指します。

リコーは、お客様の業務要件やセキュリティ要件、運用方針に応じて、オンプレミス環境、国内データセンター環境、パブリッククラウド環境など、適切な AI 基盤の選定・導入を支援してまいります。生成 AI や AI エージェントの導入から実装、運用、定着までを一貫して支援することで、お客様の AI 活用の高度化と業務変革を推進します。

1. 背景

近年、生成 AI や AI エージェントの普及に伴い、AI 処理を支える GPU インフラへの需要が世界的に拡大しています。その結果、高性能 GPU の確保や運用体制の整備が企業共通の課題となっており、AI 活用の拡大を支える計算基盤の整備が求められています。

また、機微情報を扱う業務を中心に、十分な計算性能の確保に加え、機密データを企業内で管理できる環境や、国内でデータを処理・運用できるソブリン AI 基盤へのニーズも高まっています。

2. 本検証内容

リコーはこれまで、高セキュリティな環境での生成 AI 活用を支援するため、「RICOH オンプレ LLM スターターキット」に代表されるオンプレミス環境向けのソリューション提供や企業向け AI モデルの開発を進めてきました。

本検証では、リコーが保有する LLM 技術、生成 AI アプリケーション開発基盤、AI エージェント技術などを活用し、国内データセンター環境での実運用を見据えた検証を行います。

- ・ 国内データセンター上での生成 AI 活用の実現性
- ・ オープンウェイトモデルを活用した推論環境との連携
- ・ AI エージェントを含む業務活用シナリオへの適用可能性
- ・ セキュリティや運用性に配慮した企業向け AI 基盤としての有効性

今回の検証を通じて、企業が自社で GPU 環境を保有することなく、国内データセンターを活用しながら AI を導入・運用する新たなモデルの確立を目指します。

3. 今後の展開

リコーは今後、本検証で得られた知見をもとに、国内データセンターを活用した生成 AI・AI エージェントの活用モデルの確立を進めます。また、パートナー企業との連携を通じて、企業の業務変革を支える安全かつ柔軟な AI 活用環境の実現を目指します。

■リコーの AI 開発について

リコーは、1980 年代に AI 開発を開始し、2015 年からは画像認識技術を活かした深層学習 AI の開発を進め、外観検査や振動モニタリングなど、製造分野への適用を行ってきました。2021 年からは自然言語処理技術を活用し、オフィス内の文書やコールセンターに寄せられた顧客の声 (VOC) などを分析することで、業務効率化や顧客対応を支援する「仕事の AI」の提供を開始しました。

2022 年からは大規模言語モデル (LLM) の研究・開発にもいち早く着手し、2023 年 3 月にはリコー独自の LLM を発表。企業内に蓄積された文書・画像・業務データに内在する暗黙知を AI によって可視化し、業務成果へとつなげる AI 開発を推進しています。独自のドキュメント理解技術と LLM/LMM を組み合わせることで、テキストや図表を高精度に解析し、実務で活用可能な知識として展開します。さらに、オンプレミス対応やセキュリティを重視した提供により、安心して利用できる環境を提供しています。

また、リコーは AI を自社業務において積極的に活用し、その知見をサービスに反映しています。社員自らが AI エージェントを構築・活用し、業務の高度化を実践していることが強みです。こうした実践知と、顧客の現場に入り込み業務を深く理解してきた実装力を掛け合わせることで、AI を構想にとどめることなく、継続的に価値を創出・提供していきます。

■関連ニュース

「RICOH オンプレ LLM スターターキット」のサーバーレンタルプランを提供開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/1021_1

「RICOH オンプレ LLM スターターキット」エッジモデルに自己改善型 AI エージェント「Hermes Agent」を搭載

https://jp.ricoh.com/release/2026/0910_1

リコージャパン、ダイフクに「RICOH オンプレ LLM スターターキット」を導入

https://jp.ricoh.com/release/2026/0216_1

「RICOH オンプレ LLM スターターキット」が「2025 年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」を受賞

https://jp.ricoh.com/info/2026/0105_1

高セキュリティなオンプレミス環境で生成 AI 活用できる「RICOH オンプレ LLM スターターキット」を新発売

https://jp.ricoh.com/release/2025/0407_1

■関連リンク

技術ページ: “はたらく”を支えるリコーの大規模言語モデル(LLM)

<https://jp.ricoh.com/technology/ai/LLM>

リコーの AI 開発の最前線: 企業の AI 活用を広げる「マルチモーダル LLM」

<https://jp.ricoh.com/news/stories/articles/multimodal-llm>

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜リコーグループについて｜

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>